



香川大学インターナショナルオフィスが変わります

インターナショナルオフィス長 徳田 雅明

平成21年に設置された香川大学インターナショナルオフィス(International Office; IO)は、各部局での国際関連事業とタイアップして「香川大学にとって必要なグローバル化」を目指して活動してきました。平成30年度には、創造工学部の新設など全学改革がスタートしますが、その中でもキャンパスのグローバル化はキーワードとなっています。香川大学の「4&1プラン」では、平成35年までに、年間の留学生受け入れ400人、日本人学生の中長期派遣100人を目指すとともに、日常の学園生活において在学生在がグローバルな環境で学生生活を送ることができるように整備を進めることを謳っています。

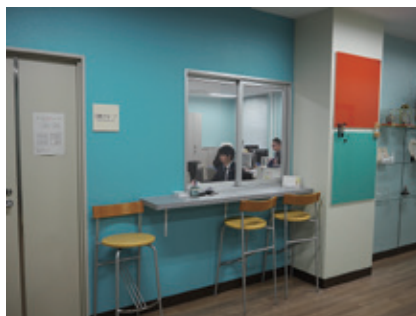


その先駆けとして、平成30年1月からインターナショナルオフィスは研究交流棟4階から南2号館1階へと移転しました。爽やかな青やグリーンを基調としたロビー部分は、皆さんが気軽に立ち寄って留学に関する情報交換を行い、English Caféとともに、キャンパスのグローバル化の象徴として活用していただくことを想定しています。

外国や留学に関心はあるけれども、語学力に自信が持てずに交流の輪にはいることを躊躇している学生さんも少なくないかもしれません。そういう方には、まずはEnglish Caféを覗いてみることをお勧めします。ここでは大学キャンパスにおいてグローバルな雰囲気に関心、語学力や異文化理解能力を養うことができます。留学の意思はあるのに、経済的な理由などから留学をためらうことがなくなるよう、各種奨学金の積極的な獲得・活用(トビタテ!留学JAPAN、JASSO等)による支援をいっそう推進していきますので、新しいIOに気軽に足を運んでください。

イギリスの教育専門誌THE (Times Higher Education)が世界の18,000以上の大学を対象とした世界大学ランキング(2017-2018)が平成29年9月に発表され、香川大学は601-800位(日本の71大学の中では13位~29位に相当)にランクインしました。また平成30年2月には、THEアジア大学ランキングが発表され、香川大学は175位にランクインしました。日本国内の大学では25位に、中四国地域の大学では3番目に位置しています。THEランキングでは、教育、研究などの項目に加え、外国人教員や学生の比率や国際共同研究など、大学の国際性を重視した評価がされます。今回の結果を、留学生や日本人学生に魅力のあるプログラムを育てていく絶好のチャンスと捉え、グローバル化推進の追い風としたいと思います。

皆様のご支援に深謝するとともに、今後とも更なるご理解とご協力をお願いいたします。



<国際交流活性化の推進>

学術交流協定締結調印

- 2017年10月1日 本学とコロラド州立大学との国際交流協定覚書の更新
- 2017年10月17日 本学と西北大学との学術交流協定等の更新
- 2017年10月17日 本学経済学部と西北大学経済管理学院との学術交流実施細則の更新
- 2017年10月25日 本学工学部及び大学院工学研究科と北京理工大学生命学院との学術交流協定等の更新
- 2017年10月25日 本学と天津理工大学との学術交流協定等の更新
- 2017年10月31日 本学と中東工科大学との学術交流協定等の締結
- 2017年11月8日 本学工学部及び大学院工学研究科とトレド大学との学術交流協定等の更新
- 2017年11月9日 本学とカリフォルニア州立大学フラトン校との学術交流協定の更新
- 2017年11月19日 本学とパリ電子電気工学技術高等学院との学術交流協定等の更新
- 2017年11月21日 本学工学部及び大学院工学研究科とパリ電子電気工学技術高等学院とのインターンシッププログラムに関する協定の更新
- 2017年12月11日 本学農学部及び大学院農学研究科とチェンマイ大学農産学部及び大学院農産学研究科との学術交流協定に関する実施細則の更新
- 2017年12月12日 本学農学部及び大学院農学研究科とチェンマイ大学農学部及び大学院農学研究科との学術交流協定に関する実施細則の更新
- 2017年12月13日 本学とブルネイ・ダルサラーム大学との学術交流協定の更新
- 2017年12月17日 本学農学部及び大学院農学研究科とカセサート大学農産学部及び大学院農産学研究科との学術交流協定に関する実施細則の更新
- 2017年12月18日 本学と韓国海洋大学校との学術交流協定に基づく学生交流に関する実施細則等の更新
- 2018年1月31日 本学とガジャマダ大学との学術交流協定の更新
- 2018年2月4日 本学とディボネゴロ大学との学術交流協定等の更新
- 2018年3月11日 本学と州立ロンドリーナ大学との学術交流協定等の更新
- 2018年3月11日 本学農学部及び大学院農学研究科とカセサート大学農学部（バンケン）及び大学院農学研究科（バンケン）との学術交流協定に関する実施細則等の更新

インターナショナルオフィス表敬訪問

- 11月10日 JST「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の招へい者12名（タイ、ブルネイ、ミャンマー、ベトナム、マレーシア）が、インターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 11月13日 JICA 日系研修員受入事業の研修員2名（ブラジル、メキシコ）がインターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 11月13日 JST「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の招へい者10名（インドネシア）が、インターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 11月24日 イエジン農業大学（ミャンマー）の教員等一行がインターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 12月11日 タイ王国・国家科学技術・イノベーション政策局副事務総長ら11名の研究者グループがインターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 12月14日 JICA 青年研修「タイ／生活習慣病予防」コース研修員及びブルネイ・ダルサラーム大学の学生がインターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 1月29日 JICA 青年研修「パキスタン／防災」コース研修員がインターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 1月29日 在京都フランス総領事ジャン・マチュー ボネル氏が学長を表敬訪問
- 2月8日 中国科技大学（台湾）学長一行5名が学長を表敬訪問
- 2月15日 チェンマイ大学の短期交流学生4名がインターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 3月15日 コロラド州立大学の短期交流学生4名がインターナショナルオフィス長を表敬訪問

第6回国立嘉義大学(台湾)・香川大学合同ワークショップを開催しました

11月19日（日）～22日（水）、本学教育学部を主管として、「第6回国立嘉義大学・香川大学合同ワークショップ」を開催し、国立嘉義大学から18名の学生・教職員をはじめ、本学からも多くの参加者がありました。

このワークショップは、2012年から本学の学術交流協定校である台湾にある国立嘉義大学との間で、交互に実施しているもので、昨年度は、国立嘉義大学を会場として開催されました。

当日のオープニングセレモニーでは、寛学長からの挨拶に続いて、国立嘉義大学・Huang教授、本学・徳田副学長から挨拶があり、その後、2日間にわたって、「Computer Science」、「Early Childhood Education」等のセッションにおいて、それぞれ教職員、学生による発表等を実施しました。

本学と国立嘉義大学との交流は、年々深まっており、このワークショップが両大学の教育・研究の発展と学生交流のさらなる拡大への契機となることが期待されています。

（国際グループ 上田幸司）



平成30年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)申請プログラムの採択

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の平成30年度海外留学支援制度に8プログラム、2,326万円分の奨学金が採択されました。この奨学金は返還不要で、成績や家計基準等の要件を満たすプログラム参加者（外国人留学生及び日本人学生）に対し、派遣地域に応じて月額6～10万円が支給されます。

・採択プログラム（協定派遣）

グローバルな視点を有し地域貢献を担う人材育成を基盤に学校教育教員資質向上を目指したAAE異文化交流短期派遣プログラム（申請部局：教育学部）、複線型グローバル教育プログラム（申請部局：法・経学部）、医学・看護学における自己啓発的グローバルディスカバリープログラム（申請部局：医学部）、国際インターンシップを活用したグローバルエンジニア育成プログラム（派遣）（申請部局：工学部）、食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム（申請部局：農学部）、香川大学グローバル人材育成（派遣）プログラム（申請部局：インターナショナルオフィス）

・採択プログラム（協定受入）

香川で学ぶ、アジア共通の健康課題解決への分野融合型アプローチ（申請部局：医学部）、食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム（申請部局：農学部）

（国際グループ 福家徹也）

<学生対象行事>

平成29年度秋季留学生ガイダンス

平成29年度秋季、本学は13の国・地域から45名（ガイダンス実施時点）の新入留学生を迎えました。関連するガイダンスは以下の日程で実施されました。

10月7日（土）10:00より 留学生会館（屋島）、上之町国際寮、花園寮のガイダンス

同 13:00より 全学新入留学生を対象とするガイダンスおよび歓迎の情報交換会

寮のガイダンスでは、例年と同様に、新旧入居者全員の出席を求めました。全体のガイダンスでは、本学に関わる事項に加えて、高松北警察署による法令遵守のガイダンスも行われました。新入留学生の歓迎会には、新入・在学留学生をはじめ、新入留学生のサポーター、地元の国際交流団体関係者等、多くの皆様が参加してくださいました。学内外の皆様のご支援により、今季も順調なスタートを切ることができました。

（インターナショナルオフィス 高水徹）



第7期さぬきプログラム開講式

平成29年10月3日（火）、第7期さぬきプログラム開講式を行いました。第7期生は、国費外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生）1名を含む8名で、国籍はタイ（3名）、台湾（3名）、インドネシア（1名）、ブルネイ（1名）です。研修生たちは、本プログラムに参加したいと思った動機や今後の抱負についてスピーチしました。

（インターナショナルオフィス ロン・リム）



課外教育行事

平成 29 年 11 月 11 日（土）、本年度 2 回目の課外教育行事を実施しました。45 名の外国人留学生と日本人学生 3 名が 2 班に分かれて秋の一日を小豆島で過ごしました。1 班は井上誠耕園でオリーブの収穫体験と工場見学、2 班は「なかぶ庵」でそうめん製造過程を見学して箸分け体験を行いました。その後、両班ともオリーブ公園に移動。昼食休憩を兼ねて美しい瀬戸内の景色を楽しみ、最後は中山地区を散策して有名な千枚田を見学しました。

学生たちからは「オリーブを手で丁寧に収穫していると知った」「初めてのそうめん体験で楽しかった」「千枚田は夏にもう一度見たい」などの感想が得られました。香川の自然や産業にじかに触れる機会として、今後も内容の充実を図っていきたいと思います。
(インターナショナルオフィス 植村友香子)



平成29年度秋期さぬきプログラム修了式

平成 30 年 2 月 14 日（水）、第 7 期さぬきプログラム修了式を実施しました。仏生山国際交流会の協力で、修了生 7 名が着物姿で参加しました。徳田インターナショナルオフィス長からの祝辞の後、修了生が一人ひとり日本語でスピーチを披露しました。渡日当日の苦労、寮生活の奮闘、大学での授業、課外活動のエピソードなどを時にはユーモアを交えて話しました。その後、修了生に修了書が授与され、記念撮影を行いました。最後に、留学生センター長から閉会の挨拶がありました。

(インターナショナルオフィス ロン・リム)



フェアウェル交歓会

平成30年2月14日(水)、さめきプログラム修了式終了後の午後3:00より、さめきプログラム生を含む全学の卒業・修了留学生を対象に、さよならパーティー(フェアウェル交歓会)を実施しました。お忙しい中、学外からも多数の皆様がお越しになり、卒業・修了生たちの門出を祝っていただきました。さめきプログラム生はこの会のために準備したパフォーマンスを披露しました。その後、留学生たちが帰国に際しての謝意や抱負を発表しました。香川大学を離れる皆さん、日本に残る皆さん、全ての皆様のご活躍をお祈りしております。

(インターナショナルオフィス 高水徹)



平成29年度冬季危機管理セミナー

平成30年2月15日(木)、平成29年度冬季危機管理セミナーを開催しました。本セミナーは、今春に海外渡航を予定している学生、引率教職員を主な対象として、海外へ渡航する際のリスクとその回避方法等について専門的知見を有する講師が講演を行うもので、全キャンパスで約80名が参加しました。

ロン留学生センター長から開会挨拶の後、J&Jヒューマンソリューションズ社の関口久仁子氏から「海外研修/留学生のための海外リスクマネジメント」の演題で講演がありました。国・地域別に特に発生するリスクを最新の事例と共に紹介していただいたことで、参加した学生からは「実際に発生した事例を動画で紹介してくれたので、具体的な対処方法が分かり勉強になった」等の感想がありました。

今後も本学の学生及び教職員の海外渡航における危機管理意識の向上を目指し、定期的にセミナーを開催する予定です。

(国際グループ 福家徹也)



ロン留学生センター長の挨拶



海外での事例や、渡航先国ごとのリスク説明

<外国人留学生への就職支援>

留学生就職活動準備セミナー

平成29年11月6日(月)、留学生就職活動準備セミナーを実施し、約30名の留学生が参加しました。具体的な就職活動の準備段階にあたる本セミナーでは、日本企業に就職した先輩留学生による就活体験談(有限会社井上誠耕園 温超氏)、接客マナーや食事マナーを実践する日本文化基礎講座(株式会社キャリアプランニング 那須由美氏)、日本における就職活動について(マイナビ 担当者 大久保淳氏)の3つの内容を学ぶことができました。日本式の一斉採用自体に馴染みのない留学生にとっては、徐々にステップを踏んで理解していくことが大切であると考えています。

(インターナショナルオフィス 高水徹)



留学生採用支援セミナー&交流会

平成29年12月6日(水)、留学生採用支援セミナーおよび交流会を実施しました。昨年に引き続き、百十四銀行と共催の形で実施することができました。第1部『就労ビザ取得及び更新に必要なマネジメントとは』では、中野国際法務総合事務所所長 中野辰宏氏をお招きして、外国人の採用を考える企業が直面する在留資格に関するご講演をいただきました。第2部の交流会では、企業の皆様と留学生や国際業務に関心を持つ日本人学生の交流の場を提供することができました。

(インターナショナルオフィス 高水徹)



企業見学会

平成 30 年 1 月 12 日（金）、留学生を対象とした企業見学会を実施しました。本行事は、県内企業を見学することで日本をよりよく理解し、就職後の自らのワークスタイルを考える契機とすることを目的に実施したものです。今年度は、意欲的に国際業務に取り組まれている株式会社イナダを訪問しました。同社の概要に関しては、主に企画室の稲田伊知郎氏が担当されましたが、多くの点について社長の稲田覚氏も直接お話をいただきました。工場内については、通常見学ができない部分まで見学させていただき、経営方法のみならず、実際の生産のあり方等についても学ぶことができました。

（インターナショナルオフィス 高水徹）



ビジネスマナー講座

平成 30 年 3 月 8 日（木）、ビジネスマナー講座を実施しました。本講座は、インターナショナルオフィスによる就職支援の一環として、ビジネスマナーの基礎を留学生に学んでもらうために実施しました。講師には、株式会社マイナビより坂田隆氏をお招きしました。お辞儀の実践の後、就活に関する動画を見てディスカッションしながら、服装、説明会での振る舞い、電子メールなどのビジネスマナーを具体的に学ぶことができました。

日本式の一斉採用やビジネスマナーに馴染みのない留学生にとっては、貴重な機会となったことと思います。

（インターナショナルオフィス 高水徹）



<インターナショナルウィーク>(平成29年12月1日～12月11日)

本学における国際交流活動を広く周知し、海外留学への関心を高めることを目的に、生協や図書館等でのパネル展示、セミナーや交流会などを行いました。
(インターナショナルオフィス 植村友香子)

①「日中植林・植樹国際連帯事業」中国大学生友好交流訪日団との交流 (12月1日)

この事業は、植林等を通じて環境及び防災意識の啓発を図るために日中両政府が行っているもので、香川県の友好提携都市である陝西省の大学生 45 名と引率教員 5 名が 2017 年 11 月 30 日～ 12 月 3 日に香川県を訪問しました。

12 月 1 日には本学を訪問し、「国際協力論」を履修している本学学生と交流を行いました。最初は英語によるコミュニケーションにぎこちなさも見られましたが、小グループに分かれてキャンパスを案内したり、昼食を共にしながらお互いの学生生活について紹介したりしながら仲良くなり、最後は名残惜しそうにバスを見送っていた学生もいました。参加した学生の中には、中国留学生とアドレスを交換して今も交流を続けている人がいるようです。

(インターナショナルオフィス 野田久尚)



②ハラルフードウィーク (12月4日～8日)

「ハラル」とはイスラム教の言葉で、イスラム教徒が「許されている」ことです。イスラム教徒にとって、豚肉を食べることや飲酒は「ハラルではない」こと、つまり禁じられていることになります。

香川大学にはイスラム教徒の留学生も少なくありません。そこで日本人学生にも「ハラル」を身近に感じてもらうため、生協の協力を得て全キャンパスで「ハラルフードウィーク」を行いました。本ウィークー日には、学長が幸町の生協食堂で留学生たちとハラルフードを食べながら歓談しました。



③第3回 English Presentation Contest (12月3日@多目的ホール)

2 グループに分かれ、第 1 部は学長、第 2 部は山下理事の挨拶で開会しました。

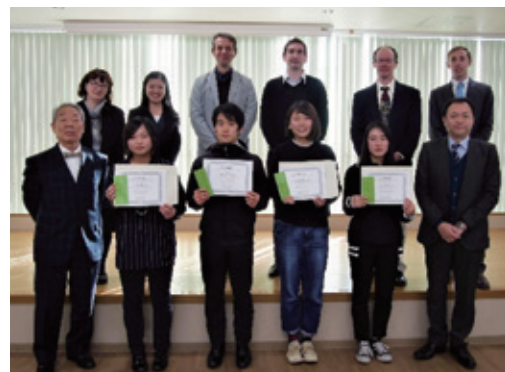
それぞれ 15 名、12 名の学生が参加し、「駄菓子」「A I (人工知能)」「留学生のサポーターとしての経験について」など、各自が自由に選んだ幅広い内容について発表しました。外国人留学生も参加し、緊張感のあるコンテストとなりました。

発表後は理事及び教員 4 名による審査が行われ、構成、表現力、発表の仕方など、8 つの項目について評価されました。各グループから一等、二等が 1 名ずつ、三等 2 名が選ばれ、賞状と賞品が贈られました。

英語でプレゼンテーションをすることは英語を使う良い機会になります。今後も英語に興味を持つ学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。
(インターナショナルオフィス 町原友梨)



第 1 部入賞者



第 2 部入賞者

④留学炉端会議（12月6日@学習ラウンジ）

「EXPLORE」「ネクストプログラム」「トビタテ！留学 JAPAN」という異なるプログラムで留学した5人の日本人学生と、現在、香川大学で学んでいる外国人留学生2名による発表がありました。日本人学生たちの留学先はタイ・ブルネイ・インドネシア・アメリカ、二人の留学生の出身はメキシコとタイで、それぞれが個性的で熱のこもった体験談を披露しました。

また、「ハラル」で「おいしい」をモットーにする学生ボランティアの「ハラリシ」が活動内容を紹介しました。



⑤学長主催外国人留学生交歓会（12月11日）

平成29年12月11日（月）、外国人留学生、教職員及びチューター等日本人学生や、地域や国際交流団体の方々との親睦を深めるため、学長主催による外国人留学生交歓会をホテルパールガーデンにおいて開催し、275名が参加しました。

今年度は Muhammad Thaqif Iqbal Bin Mokhtar さん（工学部4年）、解馥竹さん（教育学研究科2年）が司会を担当しました。算学長の挨拶に続き、留学生代表のサイ カリファ アババカーさん（工学研究科1年）の挨拶、徳田副学長による乾杯の音頭で開始されました。懇談を挟み、中国、タイ、ベトナム、インドネシアの留学生によるパフォーマンスが披露され、大いに盛り上がりました。その後、お世話になっている団体の皆様に感謝状の贈呈も行われ、最後にロン留学生センター長による挨拶で交歓会を締めくくりました。本学の留学生が、さらなる交流の輪を広げ、本学および香川・日本での留学生生活を充実したものにしてくれることを願っています。

（インターナショナルオフィス 高水徹）



以上のほかに、留学生が日本人家庭を訪問して交流する「2017 外国人学生かがわホームビジット」（香川県留学生等国際交流連絡協議会主催）、JICA 日系研修員による「南米の日系人社会と柔道」についての講演、アフリカ11か国の15名による途上国の水問題についての発表（「国際協力論」の授業で実施）を行いました。

<香川県留学生等国際交流連絡協議会>

設立30周年記念行事

平成30年1月27日（土）、香川県留学生等国際交流連絡協議会設立30周年の記念行事を実施しました。会場はオーブスクエア2階多目的ホールで、およそ100名の参加者の内訳は、学外者やホストファミリー66名、留学生20名、学長をはじめ本学関係者10名でした。

第1部「平成30年かがわホームビジットプログラム報告会」では、プログラムの概要の説明後、参加学生2名及び受入ホストファミリー2名による体験報告がありました。

第2部「第14回作文コンテスト表彰式」では、優秀賞・高松キワニスクラブ会長賞・パルネット香川理事長賞・佳作・審査委員特別賞の表彰後、受賞者たち本人による作文の朗読を行いました。

第3部「30周年記念交流会」では、本連絡協議会会長である寛学長からの挨拶に続き、本連絡協議会運営委員会の徳田委員長が30年間の歩みを紹介し、その後、協議会を構成する各団体から活動報告がありました。第3部は軽食を食べながらの和やかな雰囲気ではがすみませんでした。

(インターナショナルオフィス ロン・リム)



<トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム>

「香川地域活性化グローバル人材育成プログラム」第2回派遣留学生帰国報告会

このプログラムは県内高等教育機関に在籍する学生を対象に、奨学金を支給して、香川県の産業や重点課題をテーマとする留学を支援する制度で、香川大学国際グループが事務局となっています。奨学金は主に県内企業・団体からの寄付によっており、香川の産官学連携によって、グローバルな視野をもちつつ香川で活躍する人材の育成をめざしています。

平成30年3月9日（金）開催の第2回帰国報告会では、事務局関係者、文部科学省の担当者、支援企業・団体や留学希望の学生など50名を超える参加者の前で、6名の帰国済み派遣留学生がそれぞれの留学で実践し学んだこと、今後の活動予定について発表しました。この6名は留学先、留学期間、活動内容のどれも様々で、企業の方からの講評では、それぞれの貴重な経験をもとに、将来は地域に貢献する人材となることへの期待が述べられました。

報告会のあとの懇談会では、3月で卒業する先輩トビタテ生の飛び入りプレゼンテーションもあり、留学を機に様々な人々との縁がつながることを再確認する機会となりました。

(インターナショナルオフィス 植村友香子)



<他機関との連携活動> (インターナショナルオフィス 野田久尚)

JICA日系研修「柔道と日本文化理解」研修員受け入れ

日本政府は、中南米地域の日系人社会に対して日本文化の継承を促進するための支援を行っていますが、その一環として、本学は平成29年11月13日から12月12日の1か月間、メキシコとブラジルから柔道の指導者を目指す若者2名を研修員として受け入れました。研修員は、香川県柔道連盟の協力の下、毎日柔道の練習を行ったほか、日本語及び日本事情の講義も受講しました。



JICA課題別研修

「アフリカ地域 村落飲料水管理」コース研修員の受け入れ

本学は昨年度より、アフリカ地域の給水施設維持管理技術の向上を図るための標記研修コースの実施に協力しています。今年度も、平成29年11月17日から12月15日まで、アフリカ地域の11ヵ国から15名の研修員が来日し、医学部及び工学部の教員から安全な飲料水の供給に必要な知識や基本技術の研修を受けました。また、研修員は、忙しい研修の合間を縫って、「国際協力論」の授業で学生に対して出身国の概要について発表を行ったり、日本文化体験として書道や剣道の体験をしました。



書道体験

カンボジア国「カンダランスタン郡の衛生教育改善のための学校保健体制の構築プロジェクト」本邦研修実施

本学が香川県と共同実施している標記プロジェクトは平成29年7月に本格的に開始されましたが、10月には現地の教育省関係者及び学校関係者を2班に分けて招へいし、本学医学部や附属中学校等において、口腔ケアや手洗い指導、学校保健室の機能等について研修を行いました。第1班にはカンボジア教育省のキム・セタニー長官も参加され、カンボジア側の期待の高さを感じられました。また、カンボジアでは今回の日本での研修成果を現地に広く普及させるため、平成30年1月に現地において事後研修セミナーを開催し、多数の教育関係者が参加しました。



医学部での歯磨きの保健学習（磨き残しの染め出しの体験）



医学部スキルラボにて呼吸音の聴診



小学校でのクラス給食体験



附属中学校での感染予防保健学習で体験学習



高松市環境保全推進課によるゴミの分別学習（ゴミ収集車へのゴミ出し体験）



教育学部祭りでバルーンアートの体験



大学生協で学食を体験

留学生の声

Unforgettable Experience in Kagawa

Gana Pranamyia さん (Indonesia)

Studying and living in Japan are the two things that I want to try for a long time. I've been dreaming to have this kind of experiences for quite awhile. When I got accepted in Kagawa University, I was very happy and excited. For me this experience is very surreal, because finally I can learn many things from different culture. Especially in Sanuki Program, the program that I got into, I got an opportunity to learn Japanese culture and language.

I always have a big interest in Japanese culture. I think Japanese culture is very well known outside Japan, therefore Japanese culture can be called as a pop culture of the world. From the Sanuki Program, I can experience first hand the Japanese culture. It is a very unique experience and unforgettable.

Especially in Kagawa Prefecture, I can feel the peacefulness of this prefecture. This place has a big contrast than my home country Indonesia. I have been living in Jakarta, the capital of Indonesia for the whole of my life. When I got a chance to live in Kagawa Prefecture, I can feel the beauty of the nature and the hospitality of locals.

The studying environment in Kagawa University is also very interesting and fun. From my experience here, I can meet new friends from Japan and other foreign countries. I can say in Kagawa University the people are very diverse. Beside of that, the lecture materials are interesting and not boring. I noticed from this place I can find new things almost everyday.

Hopefully in the future I will be able to come again to Japan. This experience gave me an inspiration to get my master degree in Japan. I hope there will be another students who wants to experience the culture and the unique things of Japan. Again, I'm very grateful to learn in Sanuki Program.



インターナショナルオフィスからのお知らせ

- 平成30年1月17日(水)より香川地域活性化グローバル人材育成プログラム第9期派遣留学生を募集開始しました。このプログラムは、「海外留学でグローバルな視点を身につけ、地元に戻元することで香川県の産業の発展に貢献したい!」「香川の魅力を海外に発信し、香川と海外との架け橋になりたい!」という意欲を持った若者を、産学官で応援します。詳細は香川地域人材育成コース協議会HP (<https://www.kagawa-u.ac.jp/tobitate/>)をご覧ください。
- ブルネイ・ダルサラーム大学、チェンマイ大学に1学期間、又は2学期間交換留学をするEXPLOREの平成30年度交換留学生を募集中です。現地の学生と共に英語による専門科目を履修し、取得した単位を香川大学の卒業要件単位として認定することが可能です。また、平成30年度香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)の奨学金へ応募することができます。詳細はhttps://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study_abroad/ をご覧下さい。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第18号 2018年(平成30年)3月30日

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1318 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryucet@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <https://www.facebook.com/KUISC>